



山後一山後の嶺よりあるあひ一京
も地なりあるは死二あ
えやんより笑しをまなく増癖十
うあらしささい柳の物によ
みよふとあしきりたを思ふは
あ母世方なりあく書し
あ書ははのちあをたすの体りふ

ういあらしささい柳の物によ
人のえいあゆのあはあはあは
あういあはあはあはあは
あういあはあはあはあは
あういあはあはあはあは
あういあはあはあはあは
あういあはあはあはあは
あういあはあはあはあは

多角一と和勝の河はるの字は
 やとそとらひ西にまを料
 高直い川とあふのるもわし
 おりしと中一をさるまは
 のるの程のいふの由もま
 木の枝葉のあやまし
 はんばとあやまのあはれ
 巴し
 松
 一止
 正
 正
 正

おむいのも、あはれとあはれと
 丁のたの上とあはれとあはれと
 後此所の候とあはれとあはれと
 小まのあはれとあはれとあはれと
 土のあはれとあはれとあはれと
 こはのあはれとあはれとあはれと
 らむのあはれとあはれとあはれと
 ちま十教

香角を煮詰めての法也

小い玉の種 西の山科

徳也

毒支

うさぎの尻尾を煮詰めての法也

またうさぎの尻尾を煮詰めての法也

紅也

特 別
A5
6590
85